

平成 31 年 4 月 26 日
気象庁地震火山部

配信資料に関するお知らせ

～現行の電文を活用した「南海トラフ地震臨時情報」及び
「南海トラフ地震関連解説情報」の発表方法について～
(配信資料に関する技術情報(地震火山編)第 472 号関連)

気象庁では、中央防災会議防災対策実行会議「南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループ」の報告書(平成 30 年 12 月)を踏まえて、南海トラフ沿いで発生した異常な現象の観測結果や分析結果について発表する情報の名称を「南海トラフ地震臨時情報」及び「南海トラフ地震関連解説情報」とし、このことを平成 31 年 3 月 29 日に報道発表しました。

【報道発表】南海トラフ地震に関連する情報の名称について

https://www.jma.go.jp/jma/press/1903/29a/20190329_nankai_joho_name.html

この中で、今後の情報発表方法について、「南海トラフ地震臨時情報」と「南海トラフ地震関連解説情報」の運用開始までの間においても、関係機関との調整が取れ次第、現行の「南海トラフ地震に関連する情報(臨時)」や「南海トラフ地震に関連する情報(定例)」に用いている電文を活用して、その内容が分かるよう発表する旨をお知らせしております。

今般、その方法について別紙のとおり決定しました。「南海トラフ地震臨時情報」と「南海トラフ地震関連解説情報」の発表開始時期については、決まり次第、あらためてお知らせいたします。

なお、今回の方法は、従来より用いている電文を活用してこれらの情報を発表するための暫定的な措置であり、今後さらに十分な準備期間を設けた後、新たな電文によりこれらの情報を発表する予定です。新たな電文によるこれらの情報発表については、あらためてお知らせいたします。

<本件担当>

気象庁地震火山部地震予知情報課(竹中、岩村、指田)

電話:03-3212-8341(内線:4719、4566、4724)

現行の電文を活用した「南海トラフ地震臨時情報」及び
「南海トラフ地震関連解説情報」の発表方法

従来の「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」及び「南海トラフ地震に関連する情報（定例）」に代わり、現行の電文を活用して新たに「南海トラフ地震臨時情報」及び「南海トラフ地震関連解説情報」を以下の方法で発表します。

1. 配信開始日時

あらためてお知らせします。

2. 活用する現行電文のデータ種類コード

XML電文 : VXSE56

3. 電文内容概要

「配信資料に関する技術情報（地震火山編）第472号」（平成29年9月29日気象庁地震火山部）の「3. 電文内容概要（2）XML電文」に記載のとおりです。また、その運用は以下のとおりです。

（1）南海トラフ地震臨時情報

ア. ヘッダ部の見出し文（Head/Headline/Text）の内容

“南海トラフ地震に関連する情報（臨時）を発表します。”

イ. 内容部のテキスト要素（Body/Text）の内容

- ・ 情報文タイトルを含む全文を本文中に記載します。
- ・ 情報文タイトルは次の四つのうち何れか一つを記載します。
 - ” 南海トラフ地震臨時情報（調査中）”
 - ” 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）”
 - ” 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）”
 - ” 南海トラフ地震臨時情報（調査終了）”
- ・ 情報番号は付記しません。
- ・ 本文中に、この情報は従来の「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」に用いている電文を活用して発表している旨の文章を記載し、その中に” 南海トラフ地震に関連する情報（臨時）”の文字列を記載します。

（2）南海トラフ地震関連解説情報

①観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況等を発表する場合

ア. ヘッダ部の見出し文（Head/Headline/Text）の内容

“南海トラフ地震に関連する情報（臨時）を発表します。”

イ．内容部のテキスト要素（Body/Text）の内容

- ・ 情報文タイトルを含む全文を本文中に記載します。
- ・ 情報文タイトルは”南海トラフ地震関連解説情報”を記載します。
- ・ 情報文タイトルに続けて、一連の情報番号として”（第〇号）”を付記します。
- ・ 本文中に、この情報は従来の「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」に用いている電文を活用して発表している旨の文章を記載し、その中に”南海トラフ地震に関連する情報（臨時）”の文字列を記載します。

②「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く。）

ア．ヘッダ部の見出し文（Head/Headline/Text）の内容

“南海トラフ地震に関連する情報（定例）を発表します。”

イ．内容部のテキスト要素（Body/Text）の内容

- ・ 情報文タイトルを含む全文を本文中に記載します。
- ・ 情報文タイトルは”南海トラフ地震関連解説情報”を記載します。
- ・ 情報番号は付記しない。
- ・ 本文中に、この情報は従来の「南海トラフ地震に関連する情報（定例）」に用いている電文を活用して発表している旨の文章を記載し、その中に”南海トラフ地震に関連する情報（定例）”の文字列を記載します。

3. その他

（1）XML 電文の例は別紙2～別紙4のとおりです。

「南海トラフ地震臨時情報」の電文例

【XML電文 (VXSE56 電文) の例】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/">
  <Control>
    <Title>地震の活動状況等に関する情報</Title>
    <DateTime>2017-11-01T08:00:30Z</DateTime>
    <Status>通常</Status>
    <EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
    <PublishingOffice>気象庁</PublishingOffice>
  </Control>
  <Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
    <Title>地震の活動状況等に関する情報</Title>
    <ReportDateTime>2017-11-01T17:00:00+09:00</ReportDateTime>
    <TargetDateTime>2017-11-01T17:00:00+09:00</TargetDateTime>
    <EventID>20171101170000</EventID>
    <InfoType>発表</InfoType>
    <Serial></Serial>
    <InfoKind>地震の活動状況等に関する情報</InfoKind>
    <InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>
  </Head>
  <Text>
    南海トラフ地震臨時情報 (●●●)
  </Text>
  <Text>
    ○見出し
    .....
  </Text>
  <Text>
    ○本文
    .....
  </Text>
</Report>
```

” (臨時)” を記載します。

” (●●●)” の部分には、次の何れかのキーワードを記載します。

- ” (調査中)”
- ” (巨大地震警戒)”
- ” (巨大地震注意)”
- ” (調査終了)”

本文中に、” 南海トラフ地震に関連する情報 (臨時)” の文字列を記載します。

「南海トラフ地震関連解説情報」（観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況等を発表する場合）の電文例

【XML電文（VXSE56電文）の例】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/">
<Control>
<Title>地震の活動状況等に関する情報</Title>
<DateTime>2017-11-01T08:00:30Z</DateTime>
<Status>通常</Status>
<EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
<PublishingOffice>気象庁</PublishingOffice>
</Control>
<Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
<Title>地震の活動状況等に関する情報</Title>
<ReportDateTime>2017-11-01T17:00:00+09:00</ReportDateTime>
<TargetDateTime>2017-11-01T17:00:00+09:00</TargetDateTime>
<EventID>20171101170000</EventID>
<InfoType>発表</InfoType>
<Serial></Serial>
<InfoKind>地震の活動状況等に関する情報</InfoKind>
<InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>
<Headline>
<Text>南海トラフ地震に関連する情報（臨時）を発表します。</Text>
</Headline>
</Head>
<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/seismology1/"
xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
<Text>
南海トラフ地震関連解説情報（第〇号）
〇見出し
.....
〇本文
.....
</Text>
</Body>
</Report>
```

”（臨時）”を記載します。

一連の情報番号として”（第〇号）”を付記します。

本文中に、”南海トラフ地震に関連する情報（臨時）”の文字列を記載します。

「南海トラフ地震関連解説情報」（「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く。））の電文例

【XML電文（VXSE56電文）の例】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
<Control>
<Title>地震の活動状況等に関する情報</Title>
<DateTime>2017-11-01T08:00:30Z</DateTime>
<Status>通常</Status>
<EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
<PublishingOffice>気象庁</PublishingOffice>
</Control>
<Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/"
<Title>地震の活動状況等に関する情報</Title>
<ReportDateTime>2017-11-01T17:00:00+09:00</ReportDateTime>
<TargetDateTime>2017-11-01T17:00:00+09:00</TargetDateTime>
<EventID>20171101170000</EventID>
<InfoType>発表</InfoType>
<Serial></Serial>
<InfoKind>地震の活動状況等に関する情報</InfoKind>
<InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>
```

”（定例）”を記載します。

```
<Headline>
<Text>南海トラフ地震に関連する情報（定例）を発表します。</Text>
</Headline>
</Head>
```

```
<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/seismology1/"
xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/"
<Text>
南海トラフ地震関連解説情報

○見出し
.....

○本文
.....

</Text>
</Body>
</Report>
```

本文中に、“南海トラフ地震に関連する情報（定例）”の文字列を記載します。